

“久本山”の愛称で知られている溝口駅南口周辺は、古くから多くの寺院、仏閣があり、地域の人たちに親しまれてきたエリアです。近年、交通の便や眺望の良さなどから急速に住宅開発が進んでいます。山の裏手に、いまだ豊かな自然が残り、訪れる人に安らぎを与えてくれます。名所や史跡を結ぶ小道や坂道は、眺望の美しさに富み、ときおり野鳥のさえずりが聞こえ、さわやかな散策を楽しむことができます。

ぜひ一度のんびり歩いては、いかがでしょうか。

久本山お寺めぐり



スタート  
溝口駅南口  
A



C 馬坂の庚申塔 (まさかのこうしんとう)  
享和3年(1803年)に建立。この辺りは長坂家の所領地内だった。

I 増福寺 (ぞうふくじ)  
八幡太郎源義家の伝説があり、延命地藏尊、いぼとり地藏、長江録弥氏作のものなど多くの地藏がある。

龍台寺 (りゅうだいじ)  
慶安2年(1649年)に寄進された石燈籠がある。健気で優しい代官のために建てられたという。武相不動尊二十八所観音霊場札所第五番。

D 久本薬医門公園 (旧岡家あめや北向き地藏) (ひさもとやくいもんこうえん)  
江戸時代から八代医者を務めた旧・岡家の敷地跡で、黒沢明監督の映画「赤ひげ」の療養所のモデルとなったといわれている。六代目重孝は、初代高津村村長として、高津地区の基礎づくりに貢献した。そばの庚申塔は三富家が建立したもので、火災で焼死した馬の霊をなぐさめるためのもの。庚申信仰より馬頭信仰が強く、両者が完全に習合している。

K 明鏡寺 (みょうきょうじ)  
室町期に実海により建立。明治期に農家による不動信仰が強かった。観世音菩薩がある。先祖供養の三重の塔がある。

薬師院 (やくしいん)  
明暦元年(1655年)若き盤珪永琢が初めて江戸入りした時にわらじを脱いだ寺。かつては尼寺であった。

F 久本神社 (ひさもとじんじゃ)  
昔、久本には杉山神社、神明神社、八幡神社があったが、明治6年(1873年)に一つにまとめ、久本神社にした。天照大神を奉っている。

L 杉山神社 (すぎやまじんじゃ)  
古くから未長集落の鎮守としてあがめられてきた。

新作八幡宮 (しんさくはちまんぐう)  
明治44年(1911年)に五社を合祀。下の鳥居前に百五十八段の急な石段があり、境内からの眺望が素晴らしい。

ゴール  
川崎市民プラザ  
O

